

情報化における復興支援と課題

岩手県立大学
いわてものづくり・ソフトウェア融合
テクノロジーセンター

澤本 潤

情報通信技術 (ICT) の強みと弱み

- ICTの強み

- インターネットによる災害用伝言サービス、安否確認サイト
- Twitter、SNSなどによる支援活動の情報提供
- ITSによる被災地の車両通行実績の地図表示
- 自治体やNPO支援のクラウドサービス
- 新幹線の停止システムによる事故防止

- ICTの弱み

- 電話回線の集中と混雑
- 通信設備の被災による通信サービスの途絶
- 停電による情報通信機器、端末の利用不可
- インターネット上の流言飛語

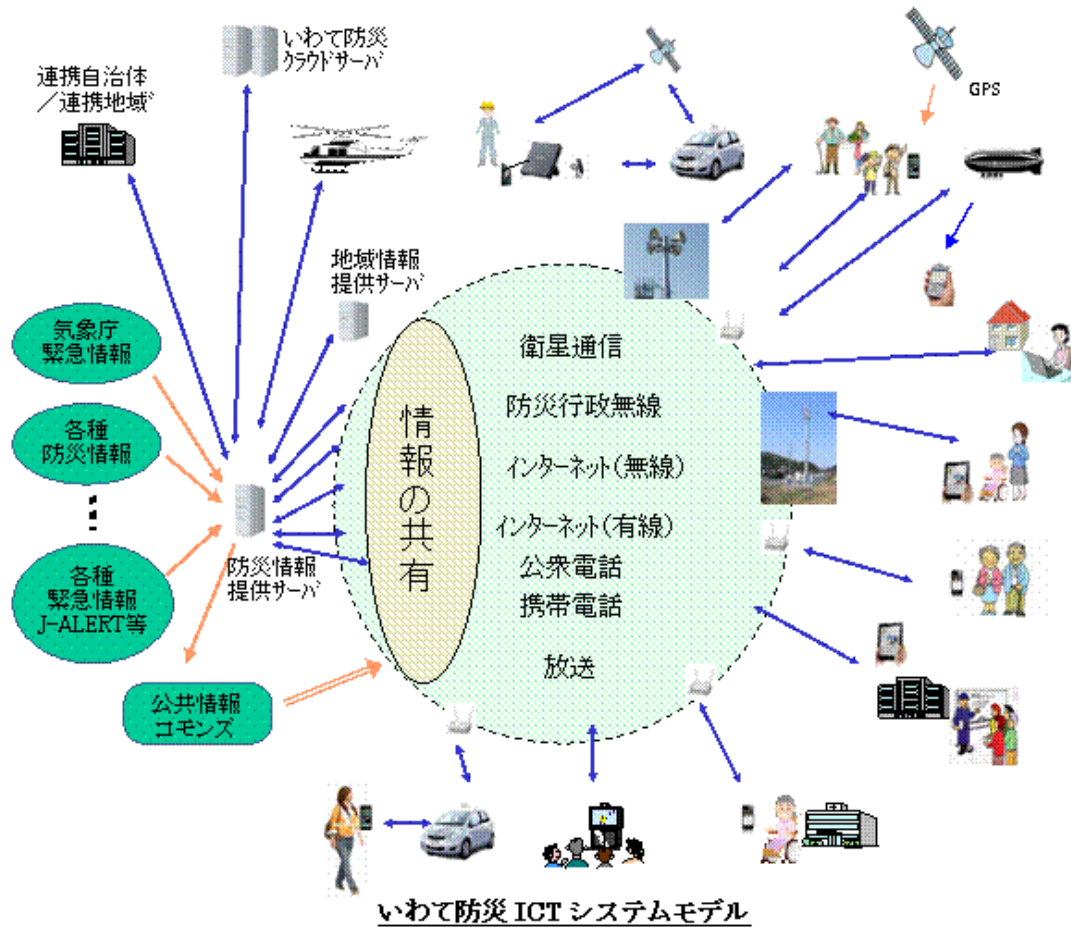
ICTの課題

- 情報化インフラ面での対応
- 地域のニーズに則したICT
- 標準化された情報通信技術の利用

ICTの課題と対応

● 情報化インフラ面での対応

- ー 情報通信インフラの強化ー有線、無線、移動、衛星など多様なインフラによる多層化
- ー 電源の確保ー再生可能エネルギー、大容量バッテリー、エナジーハーベスト等
- ー 自治体情報のデジタル化の推進
- ー 平時の有効活用(地域コミュニケーション、観光情報など)



ICTの課題と対応

- 地域のニーズに則したICT
 - 高齢者の方が使える情報機器の提供
 - ICT人材の育成（ICTリテラシー）
 - 地域コミュニティの基盤としてのICT

地域の絆の再生

- 2020年までに情報通信技術を活用することにより、すべての国民が地域を問わず、質の高い医療サービスを受けることを可能にする。また、2020年までに、高齢者などすべての国民が、情報通信技術を活用した在宅医療・介護や見守りを受けることを可能にする。
- 2020年までに、情報通信技術を利用した学校教育・生涯学習の環境を整備すること等により、すべての国民が情報通信技術を自在に活用できる社会を実現する。
- 2015年頃を目途にすべての世帯でブロードバンドサービスの利用を実現する「光の道」を完成させることにより、暮らしに密着した医療・教育・行政等の飛躍的な向上や地域の活性化を実現する。

ICTの課題と対応

- 標準化された情報通信技術の利用
 - 標準的な基盤の構築 – サービスの向上と低価格化
 - クラウドサービスの利用

技術的な障壁を取り除き、情報通信サービスとネットワークの相互運用を実現するために、「標準化」が重要である

